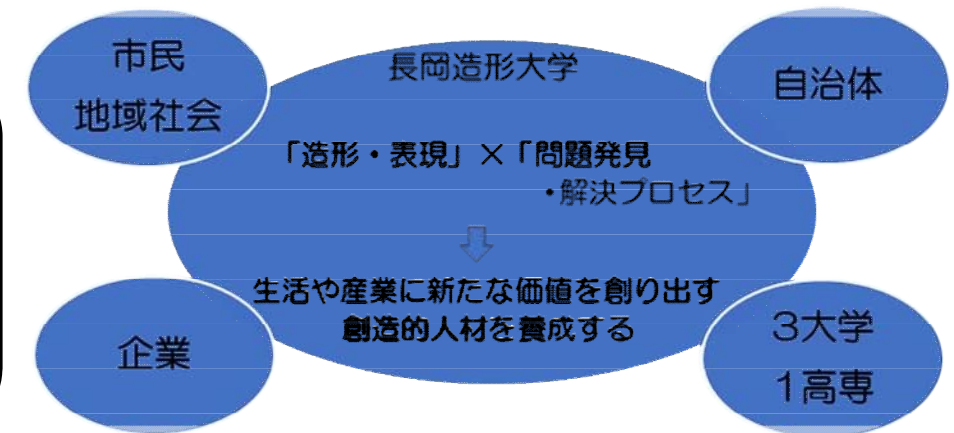


長岡造形大学 第2期中期目標のポイント



【第1期方針】
 将来にわたって時代の要請と地域の期待に真に応えることのできる、より魅力と実力のある大学としてさらに成長していく



【第2期方針】
 ・「造形・表現」としてのデザインと、「問題発見・解決プロセス」としてのデザインを探求し、社会が抱える問題の本質をとらえ、人々の生活や産業に新たな価値を創り出すことのできる創造的人材を養成する
 ・地域貢献活動に力点を置きながら、市民に支持される魅力ある大学として成長していく

① 社会に貢献できる有為な人材の養成

◆ 「造形・表現」としてのデザインと「問題発見・解決プロセス」としてのデザインを体系的に学ぶカリキュラムの編成	⇒	・デザイン思考等の手法を用いた問題発見・解決力を身に付ける科目の設置等 ・デジタル系科目の強化
◆ 地域社会に密着した実践教育の実施	⇒	地域社会と連携した演習、実習を主とする授業、起業家マインドの醸成
◆ 時代の変化に対応し、社会の要請と学修需要に応えるための、教育研究組織の不断の見直し	⇒	発展するデジタル社会に対応する人材の育成
◆ 学生の特性に合わせた修学、生活、就職・進学支援の実施	⇒	・修学に関する指導・支援 ・企業紹介やインターンシップ斡旋等
◆ 国際的な視野を持つ人材、海外で活躍する人材の育成	⇒	協定締結校との交換留学、連携授業、国際的な発表の場への参加等

② より質の高いデザイン研究の推進

◆ デザインの質の向上、可能性の探求と、時代や社会の要請に応える実用的かつ実践的なデザインの研究を推進	⇒	実践的かつ質の高い研究推進（特別研究費の配分、顕彰制度の実施）
◆ 研究成果を体系的に蓄積し、教員・学生の研究成果を幅広く公開	⇒	卒業・修了研究展、市民オープンキャンパス等での公表、WEBシステムによる研究業績管理と公表
◆ 地域の企業、高等教育機関、自治体、コミュニティと連携し、様々な課題に取り組む研究実施体制の構築	⇒	地域協創センターの活動の充実、NaDeC構想の推進、まちなかでの研究環境の整備

③ さらなる地域貢献活動の推進

◆ 地域社会と協働し、地域課題の解決や新たな地域価値の創造による地域振興	⇒	ヤングアート長岡など自治体・地域と連携した事業
◆ 子どもから大人まで生涯にわたる学習機会の提供	⇒	こどもものづくり大学校、市民工房等
◆ 産学官金との連携による産業振興	⇒	NaDeC構想の推進、企業支援、社会人対象デザインスクール等
◆ 市内在住の高校生及び市内高校出身者の積極的な受入れ	⇒	市内優先枠の拡大、市内高校向けオープンキャンパス等
◆ 若者の長岡への定着、就職の推進	⇒	長岡を知り体験する取り組み、市内企業でのインターンシップ、企業とのマッチング

④ 社会情勢の変化に対応できる運営体制の確立

◆ 自律的、弾力的、効率的な業務運営	⇒	学識有識者の専門的知見の活用、監査機能の強化
◆ 職員の意欲向上と、人事評価制度に基づく適正な人事の実施	⇒	適切な人事評価、人事配置による教職員の負担軽減
◆ 積極的な外部資金獲得と経費の節減	⇒	競争的研究資金、受託研究、共同研究、寄付金、受講料等の獲得
◆ 外部評価による教育研究と業務運営の改善、積極的な情報公開	⇒	評価委員会等の評価に基づく業務改善、各種メディア活用による情報公開
◆ 法令遵守の徹底や環境配慮の実践	⇒	人権擁護や法令遵守に関する研修会の開催